

1 本校の教育目標 = 「笑顔あふれる元気な学校」が目ざす子どもの姿

<p>○ <b>思いやりのある子【徳】</b> 関わり合い、認め合い、感謝し合う温かさを感じ、互いの心を通わせる子「にこにこ」</p>	<p>○ <b>すすんで学ぶ子【知】</b> わかる・できる喜びを求め、知的好奇心や向上心をもとに学び続ける子「わくわく」</p>	<p>○ <b>たくましい子【体】</b> 望ましい生活習慣を身につけ、ねばり強さと活力のある心と体をもつ子「ぐんぐん」</p>
---	---	--

2 学校経営の方針（中期目標）

「子どもを大切にはぐくむ学校、地域とともにある学校、教職員が信頼される学校」に 視点

- (1) 【豊かな心を育む】 温かい人間関係づくり、自己肯定感を高め、感動を味わえる体験を推進する。 ②
- (2) 【確かな学力を育む】 基礎・基本の定着、内発的動機をもとに学び続ける態度の育成の両立を図る。 ①
- (3) 【たくましさを育む】 困難に立ち向かい乗り越える経験を通して、体力・気力の充実を図る。 ③⑤
- (4) 【開かれた教育課程】 目ざす方向性や資質・能力を地域社会と共有し、連携してその実現を図る。 ⑥
- (5) 【信頼される教職員】 安全・安心な学校づくり、教職員の資質および労働環境の向上を図る。 ⑦

3 重点努力目標（短期目標） **下線部は、令和3年度からの変更事項**

評価項目		重点努力目標	評価指標	学校評価アンケートにおける肯定群の割合
(1) 豊かな心	基本的な生活習慣の定着	・幸生活三則（時間を守る・気持ちのよい挨拶・黙って掃除）をはじめとする「こころ整う身のこなし」を家庭とともに推進する。	・行動の記録「 <u>基本的な生活習慣</u> 」の○の数 ・キャリアパスポートや掲示「美行木」の記述 ・Q-U検査の分析結果 ・学級会の内容や開催回数	
	自他のよさを認め合う <u>集団づくり</u>	・ <u>児童の発意・発想による実践的な活動を展開し、自己有用感と感動を味わえる方策（特に異年齢集団との交流）</u> を取り入れる。		
(2) 確かな学力	基礎・基本の定着	・日々の授業では、教師と児童が「 <u>本時の目標</u> 」の達成を板書で十分に意識し、実態に応じた的確な支援を施すことで、確実な習得を図る。	・授業におけるつぶやきや発言、振り返り等の内容 ・単元末テスト、学力検査等の分析結果 ・タブレットの利用実績 ・図書室の利用状況	
	主体的・対話的で深い学びの実現	・知的好奇心や向上心などをもとに、一人調べや練り合いによって追究を深め、生活や社会に生かす問題解決的な学習を実践する。		
(3) たくましさ	年間を通した体力づくり	・ <u>教育課程の工夫（モジュール・余剰時間等）</u> 、 <u>体育的行事や授業の重点的な取り組みと外遊びの励行</u> により、体力の向上を図る。	・体力テスト（6月・2月）の分析結果の <u>比較</u> ・外遊びした児童の人数	
	心身の健康の保持・増進	・「ぐんぐんカード」を活用し、 <u>家庭を主体に望ましい生活習慣の定着と健康管理</u> を図る。 ・ <u>不登校・学級不適応児童対策を機能させる</u> 。	・生活点検「ぐんぐんカード」の分析結果 ・不登校児童数・欠席日数	
(4) 開かれた教育課程	社会に開かれた教育課程	・学校の教育方針や実践成果について、各種おたよりやホームページを活用して積極的に発信し、教育活動の透明性を高める。	・ホームページの更新回数およびアクセス数 ・地域教育ボランティア等の登録数および参加数 ・学校評議員からの意見や関係者評価	
	地域との連携	・地域の「人・もの・こと」との <u>繋がりを意識させるとともに、「のびるん de スクール」「コミュニティスクール」の在り方を共有する</u> 。		
(5) 信頼される教職員	安心安全な学習環境づくり	・研修やOJTにより、教職員個々の危機管理意識を高める。記録の累積による児童理解と <u>いじめの起こらない集団づくりを進める</u> 。	・受傷による保健室利用数 ・生活アンケートへの記述内容、いじめ月例調査	
	組織体制の強化	・学年主任を中心とした組織的な対応と報告・連絡・相談・確認の徹底を図り、見通しが明確かつ風通しのよい職場づくりを進める。	・管理職との面談（ <u>3～4</u> カ月に1回）での内容 ・ストレスチェックの結果	
	教職員としての誇りと自覚	・客観的な勤務実態の把握と個々のマネジメントによって、働き方に対する一人一人の意識改革を進め、上限方針の遵守を目ざす。	・在校等時間調査の結果 ・年休等の取得状況 ・衛生委員会での意見	